

## 〔令和3年度 伊勢市水道事業会計決算の概要〕

本年度の水道事業は、「伊勢市水道事業ビジョン」に基づき給水の安定及び有収率の向上を目指し効率的な維持管理を行うため、老朽化した設備及び配水本管の更新、下水道工事などに伴う配水本管布設替等の工事を実施するとともに、基幹管路を中心とした耐震化を行いました。

### 1. 経営成績 (単位：千円)

収益的収入	2,599,102
収益的支出	2,265,924
当年度純利益	333,178
その他未処分利益剰余金変動額	331,407
当年度未処分利益剰余金	684,585

※ 議会の議決により、当年度未処分利益剰余金のうち、その他未処分利益剰余金変動額分は資本金に組み入れ、当年度純利益分は資本的支出の財源として、建設改良積立金に積立しました。

### 2. 財政状態 (単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
資 産	28,061,419	負 債	11,353,516
固定資産	25,307,995	固定負債	5,328,871
流動資産	2,753,424	流動負債	771,388
		繰延収益	5,253,257
		資 本	16,707,903
		資 本 金	16,020,189
		剰 余 金	687,714
		資本剰余金	23,129
		利益剰余金	664,585
合 計	28,061,419	合 計	28,061,419

### 3. 業務量の概要

項目	令和3年度	令和2年度	比較	
			増・(△)減	比率
給水戸数 戸	57,644	57,338	306	100.5%
給水人口 人	121,963	123,193	△1,230	99.0%
配水量 A m <sup>3</sup> /年	16,573,173	16,802,331	△229,158	98.6%
有収水量 B m <sup>3</sup> /年	14,064,360	14,289,053	△224,693	98.4%
有収率 B/A %	84.9	85.0	△0.1	—

### 4. 水道ビジョンにおける業務指標の実績

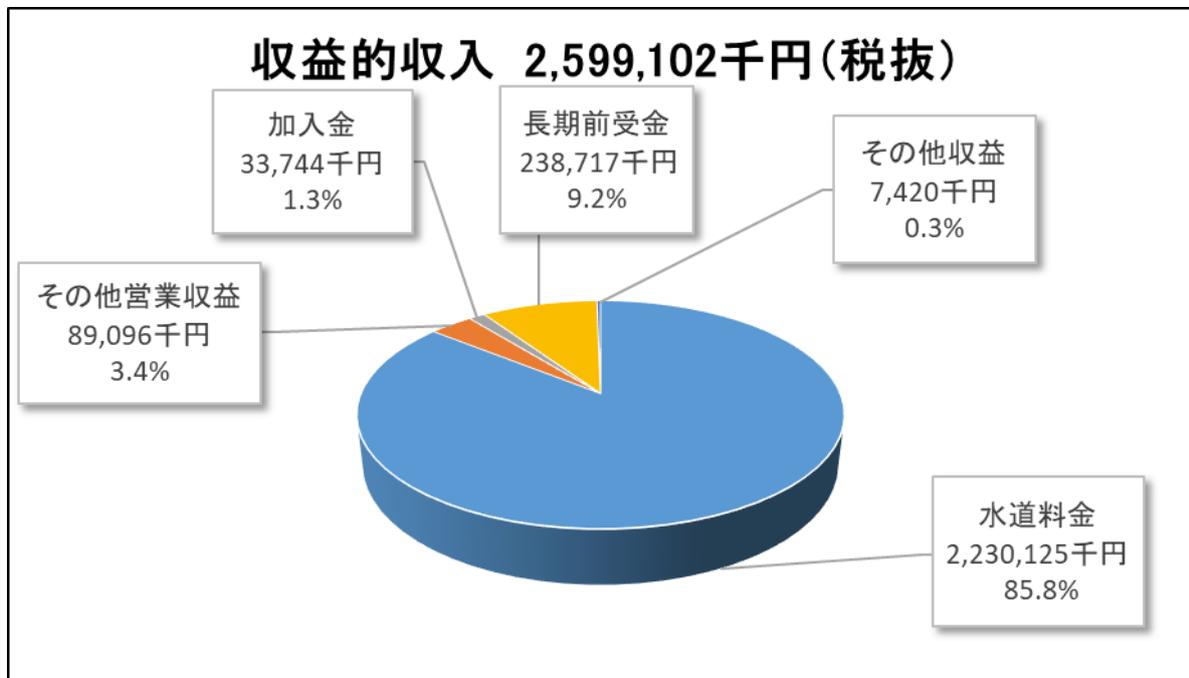
	業務指標	単位	目指す方向	実績値			目標値	
				R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R5 (2023)	R10 (2028)
持続	施設利用率	%		53.5	54.4	57.2	52.4	48.9
	漏水率	%		13.1	13.6	13.6	8.6	7.0
	有効率	%		86.5	85.4	85.3	91.4	93.0
	管路の更新率	%		1.12	1.02	0.82	1.10	1.40
	経常収支比率	%		117.2	114.6	115.6	100以上	100以上
	外部研修時間	時間/人		4.5	2.6	0.8	5.5	6.0
安全	水源の水質事故件数	件		0	0	0	0	0
強靱	配水池の耐震化率	%		58.5	60.5	66.4	78.0	100.0
	管路の耐震管率	%		19.1	19.9	20.4	23.5	29.9
	基幹管路の耐震管率	%		38.9	40.8	41.5	40.6	47.3

[水道事業の収支]

1. 収益的収支

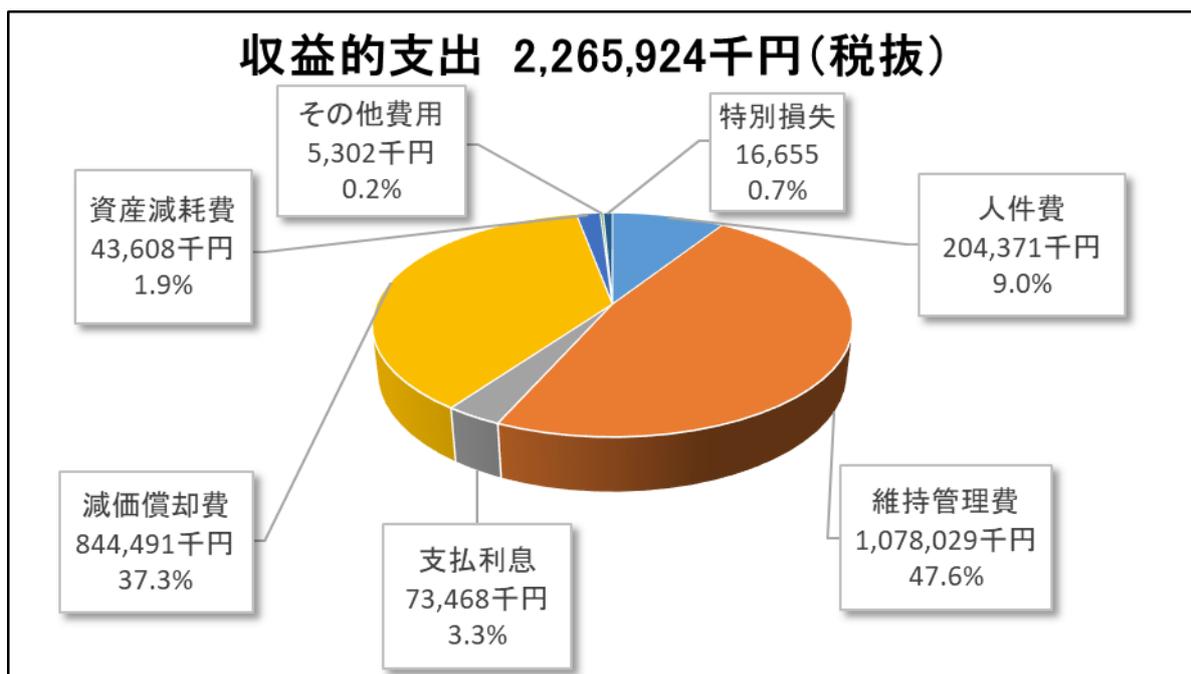
① 収益的収入

原水の取水や配水に係る施設の維持管理費等水道事業の経営に必要な経費（収益的支出）の財源。利用者に負担いただく水道料金、加入金等で構成しています。



② 収益的支出

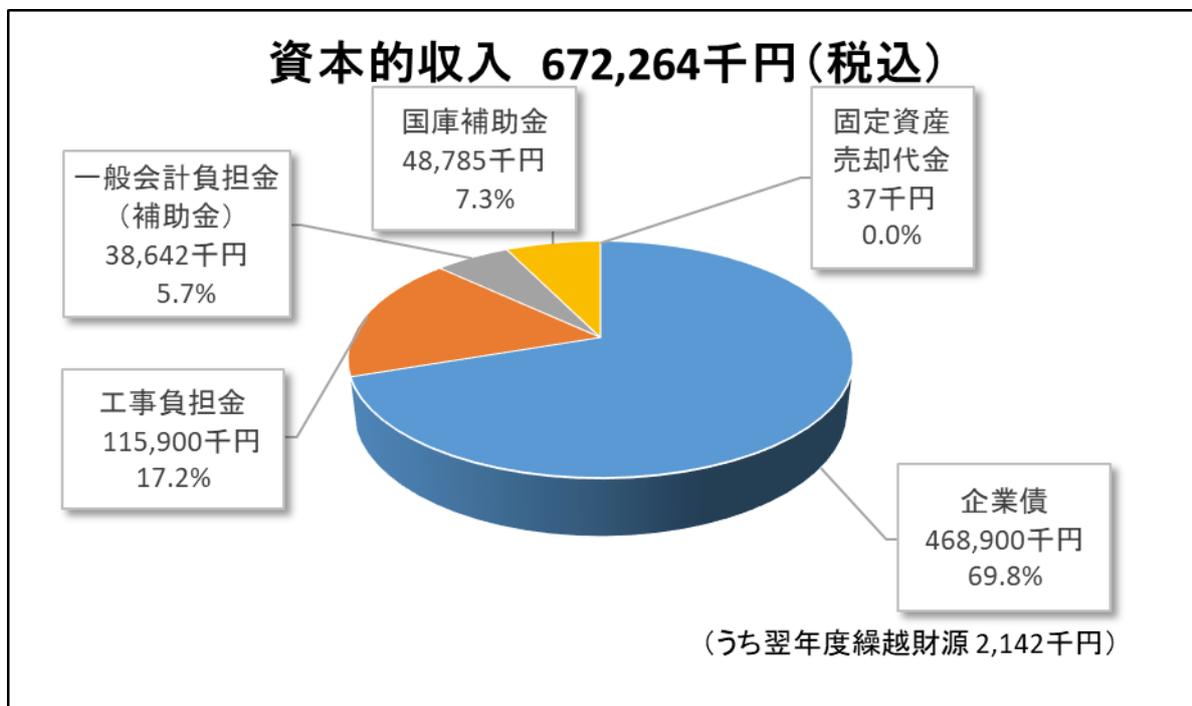
水道料金、加入金等（収益的収入）を財源として、水道事業を運営していくために必要な経費。原水の取水や配水に係る施設の維持管理費、人件費、施設の建設等に要した借入金の支払利息、減価償却費等で構成しています。



## 2. 資本的収支

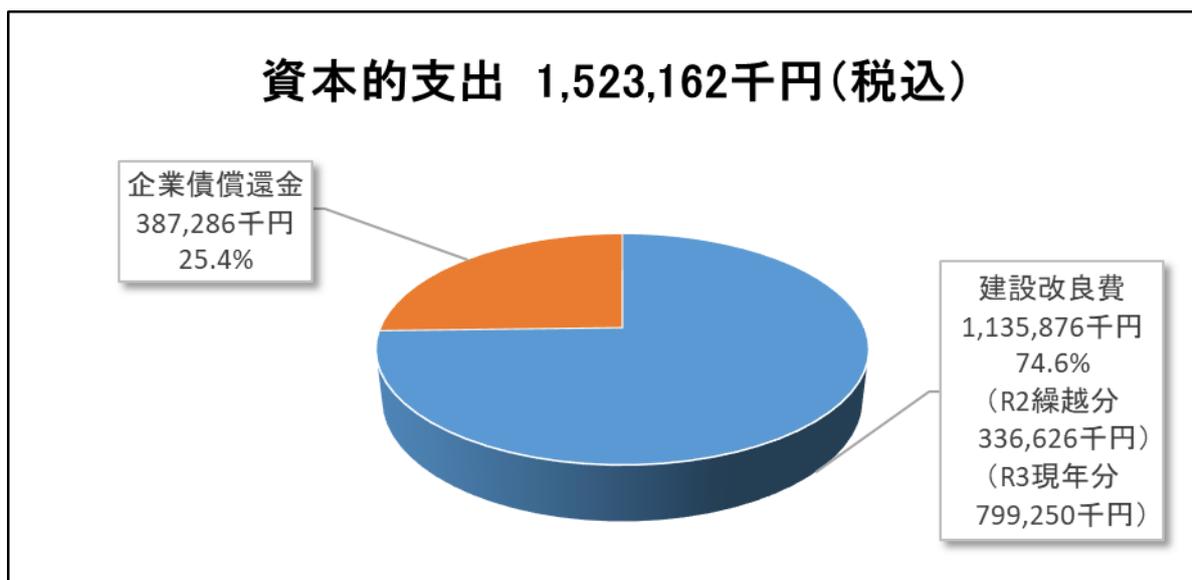
### ① 資本的収入

施設の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金(資本的支出)の財源。企業債、工事負担金、一般会計負担金(補助金)及び国庫補助金等で構成しています。



### ② 資本的支出

企業債や工事負担金等(資本的収入)を財源として、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良や企業債の償還等にかかる事業費。建設改良費、企業債償還金(借入金の返済)で構成しています。



※資本的収入額(翌年度繰越財源 2,142千円を除く)が資本的支出額に不足する額 853,040千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 79,617千円、繰越工事資金 1,648千円、建設改良積立金 331,407千円、過年度分損益勘定留保資金 440,368千円で補填しました。